

臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名：

左小脳出血後に情動障害と自発性低下の出現により ADL の改善に難渋した一症例

<目的及び概要>

小脳出血は運動失調だけでなく、虫部や半球の障害により cerebellar cognitive affective syndrome (CCAS) の認知・情動・行動障害を伴うことがわかっている。このような症状を有する場合、難渋するケースが報告されている。今回歩行自立に向け運動失調に対するアプローチを中心に行ったが、情動障害と自発性低下が出現し ADL の改善に難渋した症例を経験したので報告する。

<研究方法>

対象者は、70 歳代の男性。就寝前に突然の嘔吐とふらつきが出現し、翌日に左小脳出血と診断された。入院 3 病日に理学療法開始となった。左殿部の身体重量の知覚を基に坑重力位での対称性と垂直性の構築を図ることで歩行獲得ができるのではないかと仮説を立て介入を行った。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<研究者>

リハビリテーション科：山形 繁広

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事課
電話：0798-34-5151（代表）